
「胎児胸水合併妊娠の臨床的特徴と転帰：単施設後方視的研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療録を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、【埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2017年4月1日から2024年3月31日の期間に【埼玉医科大学総合医療センター】を受診し、胎児胸水と診断され、検査を実施したお母さんと赤ちゃんを対象としております。

2. 研究の目的

胎児胸水は比較的稀な疾患であり、報告される周産期転帰は多様で、一貫した見解は得られていません。

本研究では、当院で管理された胎児胸水合併妊娠を対象とし、母体背景、胸水の発症様式（片側性か両側性か）、胎児治療の有無、ならびに染色体異常や構造異常の有無などの臨床的因子と、周産期転帰との関連を後方視的に検討します。

本研究により、両側胸水や胎児治療を要した症例では慢性呼吸不全の発生と関連する可能性があるとの仮説を検証することで、妊娠中の介入選択、分娩計画、さらに新生児科との周産期連携体制の構築に資する知見を得ることを目的とします。

3. 研究期間

病院長の許可後～2028年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2026年1月8日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

妊娠経過（胎盤の位置、胎児胸水の発症様式）や産科管理（分娩方法、分娩週数）、新生児情報（体重、出生後の状態）など

※この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学総合医療センター】において、研究責任者である中村 永信が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

胎児胸水と診断されたお母さんと赤ちゃんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療

記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門 中村 永信
（研究責任者）
- ・埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門 永原 みづき
- ・埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 鮫島 浩輝
- ・埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門 成田 達哉
- ・埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門 江良 澄子
- ・埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 長井 智則
- ・埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門 松永 茂剛
- ・埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門 菊池 昭彦
- ・埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 高井 泰

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学総合医療センター】 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身やお子様のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター 中村 永信

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3681（土日祝日を除く 9：00～17：00）

メールアドレス：einaka@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：胎児胸水合併妊娠の臨床的特徴と転帰：単施設後方視的研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター 中村 永信